

文化も作物も実りあるものを！！

地域のつながりから 関わって早10年！！

高崎さんは今年で11回を数える
みのゝれ芸術展に第2回から
関わっています。「第2回の芸術展
に出席した彫刻家の小松崎卓さん
が高校の同級生だったんです。
そのつながりで芸術展の実行委員
に入ったんです。今回出展する
落合青光さんも近所に住んでいる
んですよ」と地域とのつながりを
楽しそうに話してくれました。

趣味は写真を撮ること。同じ
みのゝれ芸術展実行委員の大山進
さんと山口ヒロナリさんに手ほど
きを受けています。「玉里写真会に
入っています。昨年も子ども達が
大きなレンズをプレゼントして
くれたので野鳥を撮りに行ってい
ます。昨年は白鳥が飛び立つ
ところをタイミングよく撮ること
が出来たことと、ダイヤモンド
筑波を写すことにも成功しました。
年2回文化協会祭・文化祭などに

出展しているんですよ」と嬉し
そうに話してくれました。しかし
ながら、なかなか写真を撮りに
行っている暇がないのが悩みの種
だそうです。

「若いときは人と話すのがあまり
好きじゃなかったのですが、14
5年前に転職があったんです。
250人の前で話す・という
ことです。とある式典を開くこと
になり、その時、主催者代表の
あいさつをしてみたら出来て
しまつて、あく自分でもやれば
出来るんだって自信がついたん
です」と高崎さん。

美味しいお米と柿作りに忙しい
生活の中で合間をぬつてみのゝれ
に足を運んでくれている高崎さん
は、「みのゝれはすごいなと思
いました。いつ来ても人がいるん
ですよ。それだけ利用しているん
だな。こんな田舎に文化ホールを
建てたつてしょうがないだろ
うって言つてた人も、みのゝれは
すごいなって言うようになったん
です。人がどんどん利用する建物
はいくらあつてもいいんですよ。

まもなく梅雨が明け、暑い夏がやってきます。涼しげなねむの花や朝顔、背高のつぼのひまわり、
採りたての夏野菜、せみの鳴き声・夏の匂いがすると、間もなく梅雨が明けるな！なんて少し
だけわくわくするのです。今回は第11回みのゝれ芸術展の企画実行委員長で上玉里地区にお住いの
高崎芳行さん取材します。



第11回みのゝれ芸術展実行委員長

た か さ き よ し ゆ き
高崎 芳行 さん

「本当にみのゝれはいつ
でも人がいますね。」
と笑顔で話す高崎さん。

みのゝれと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.85

芸術展も11回目を迎えるんです
けど、毎年楽しみにしてくれる人
がたくさんいて・小美玉ゆかり
のある人が出展してくれている
からです。10年もやっていて
毎回毎回こんなに素晴らしい作家
さんがいるんだから凄いいね。
ずっと芸術展に関わっていたい
です。実行委員も毎年少しずつ
変わっていくのでまた新しい
出会いがあるでしょう。また
今年度は新しい試みとして『作家
と行く美術鑑賞ツアー』という
企画も実施します。作家と一緒に
美術館に行き、お話を聞くことで
より深く芸術に触れることが
できると思います」と高崎さんは
話してくれました。

今年のみのゝれ芸術展は、『日本
画家落合青光』彫刻家・宮路久子
両作家の出展で、8月16日（土）
・24日（日）の会期で開催されます。
17日（土）には彫刻家・宮路久子
先生による粘土で勾玉作りの体験
教室もあります。素晴らしい作品
を見て心豊かに暮らしてみませ
んか？
（藤田佐知子）